

授業科目 聴覚障害 I 演習

【担当教員名】 吉岡 豊	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	○
【概要・一般目標：GI0】 <概要> 難聴児（者）の診断・評価・治療で欠くことのできない各種聴覚検査と聴能評価を実践を通して理解する。				
【学習目標・行動目標：SBO】 <学習目標> 1 聴覚検査のための予備知識を理解するとともに聴覚検査の理論と実際について理解する。 2 気導・骨導の純音聴力検査ができる。 3 各種聴力検査法を理解すると共に基本的聴覚検査を体験する。 4 語音聴力検査を実施し、その評価ができる。 5 各種聴覚検査の結果を判読できる。 6 聴覚障害児の検査法を体験し適応範囲を理解する。				
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	聴覚検査のための基礎知識を理解する。気導聴力検査の概要	1, 2	AB 合同講義（2コマ連続）、担当：吉岡 豊 他	
2	純音聴力検査（気導）ができる	1, 2	AB 別講義と演習（AB それぞれ2コマ連続）、担当：吉岡 豊	
3	純音聴力検査（気骨導とマスキング）とインピーダンスオージオメトリーを理解する	2, 3	AB 合同（2コマ連続）、担当：吉岡 豊	
4	純音聴力検査（気骨導とマスキング）とインピーダンスオージオメトリーができる。	2, 3, 6	AB 別講義と演習（AB それぞれ2コマ連続）、担当：吉岡 豊	
5	閾値上聴力検査（SISI）と語音聴力検査を理解する	3, 4	AB 合同（2コマ連続）、担当：吉岡 豊	
6	閾値上聴力検査（SISI）と語音聴力検査ができる	3, 4, 6	AB 別講義と演習（AB それぞれ2コマ連続）、担当：吉岡 豊	
7	各種閾値上聴力検査（ABLB）と自記オージオメトリーを理解する	3	AB 合同（2コマ）、担当：吉岡 豊	
8	選別聴力検査と乳幼児聴力検査を理解する	3	AB 合同（2コマ連続）、担当：吉岡 豊	
9	乳幼児聴力検査と各種聴力検査（閾値上聴力検査、自記オージオメトリー）ができる	3, 6	AB 別講義と演習（AB それぞれ2コマ連続）、担当：吉岡 豊	
10	各種聴力検査結果を判読できる	3, 6	AB 合同（2コマ連続）、担当：吉岡 豊	
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	聴覚検査の実際 改訂3版	日本聴覚医学会編	立木孝 南山堂	2009・3,400円＋税
参考書	言語聴覚療法シリーズ5 改訂聴覚障害Ⅰー基礎編	山田弘幸、佐場野優一	建帛社 ISBN 978-4-7679-4505-7 C3047	2007・2,500円＋税
その他の資料				
【評価方法】 出席・演習実習の態度・ミニテスト・レポートから総合的に評価する。	【履修上の留意点】 演習は2コマ連続でABの2グループに分けて行う。講義の場合はAB合同で2コマ続きの授業とする。 具体的は班分けおよび進行予定は演習初回に提示する。 各種検査ごとに何名かを対象に検査の実施を義務づけるので必ず提出すること。			